

エレドクター、高須英津子先生の

華・歳時記

名古屋発! リュクスな若マダムをレポート!

Photos : TAKESHI NISHIMURA

Hair & Make-up : SATOSHI IKEDA [HAIR DIMENSION 4]

Text : SATOKO TAKAMIZAWA

Vol.3 春のお稽古事



患者さんや子供がほっとする、ほのかな香りが基本

〈右〉クロエのオードパルファムと、パフューム ボディクリーム。つけたと体温が上がるような、温かい香り。〈左〉クリニックで使用しているアンティバックジャパンの空気洗浄機。除菌、消臭に加えて芳香もでき、空間全体が心地よい香りに包まれる

春のショッピング計画に胸躍らせるこのシーズン。名古屋のお洒落ドクター・高須英津子先生もその例に漏れず、お洋服から靴、コスメまで少しずつ軽やかに変化しています。最新ルックに身を包んだ英津子先生が案内してくれた、明るい色いっぱいのお洒落計画と趣味の世界へ、ようこそ!

Q1

診察も、育児もこなす英津子先生。どんな香りなら母として、働く女性として合格ですか?

A1

もともとは、シトラス系の爽やかな香りが好きで、香水もいろいろ集めたという英津子先生。けれど、クリニックでの診察時やお子様と一緒のときはどうしているのでしょうか?

「子供が生まれてから、濃いめの香水はつけなくなりましただね。けれど、クリニックの患者さんや子供が嫌がらない優しい香りであれば、それとまとうようにしています。周囲を和ませるパワーもありますし、何より自分の気持ちが上がりますから。いい香りのボディクリームをつけていると、一番上の娘からは「私も塗って!」なんてリクエストがあるんですよ」

最近のお気に入りにはクロエ。パフュームは膝の裏などにそっとつけ、自分だけが楽しめる程度のほのかな香りだちに。夜おやすみの前にはボディクリームで保湿しながら、温かみのある香りを楽しんでいるそう。また、クリニックでは除菌効果もある空気洗浄機を使って、清潔で気持ちいい空気をつくっているのだとか。見えない部分にも配慮する女心、見習いたい!

BEAUTY

4月のQ&A 紫外線に負けない、春一番美容



春にまず着替えるのは、ファンデーション

〈上〉愛用ファンデは、クレド・ポー ボーテのタン ナチュラル。2つの質感をシーズンにより使い分け。ソニアリキエルのブドゥル シュプリムはメイク直しに。〈下〉ゴルフやテニスのときはランコムのアブソリュ βx-UVを、デイリーにはジュランツのサンカットで紫外線を防御

Q3

美白が気になる季節に。日焼けどめの選び方を教えてください!

A3

美白のシーズンが近づいて、「そろそろ日焼けどめを」なんて方も多いのでは? そんなのんびりさんに、英津子先生から熱いメッセージが。

「皮膚科医として声を大にして言いたいのですが、日焼けどめは年中つけてください。たとえ主婦の方でも、ちょっとした家事の合間に外に出て紫外線を浴びますよね。予防は最高の美白ですから、

きちんと塗るクセをつけましょう」
先生は、日常生活なら肌の負担が軽い SPF 30 まで、アウトドアのときは SPF 50 と使い分けているそう。また、手のシミに悩んでクリニックを訪れる方が多いので、うっかり日焼けをしないよう注意して、とのこと。特に車を運転する人は、こまめに手にも UV ケア製品を塗り、紫外線に備えましょう。

Q2

冬のファンデだと、少し重たく感じます…。春夏のベースメイク、替えたほうがいいですか?

A2

皮膚科のドクターである以上、いつもキレイな肌でいるのもお仕事のうち。毛穴がまったく閉まらないような、つるつるとなめらかな肌をキープしている英津子先生の、ベースメイクのおすすめは?

「仕事るときは、きちんと感のある、ハーフマットでアラをカバーしてくれるファンデーションを使います。クレド・ポー ボーテのもの

は時間がたつてもくすまず、夜までずっとキレイな状態をキープしてくれるので気に入っています。冬の間はしっかりとタイプを使い、3月くらいにさっぱりして少しマットなものへとチェンジ。同じブランドでテクスチャー違いを揃えると、季節の変わり目も違和感なく乗り切れます」



皮膚科医 高須英津子さん

たかす・えつこ ● 高須クリニック 名古屋院ドクター。自らがニキビに悩んだ経験をもと、患者目線でのていねいな診察、治療に定評あり。レーザー治療をはじめとした最先端の美容医療に精通。私生活では3児の母としての顔も。お母様はゴッドハンドで知られるエステティシャン <http://ameblo.jp/dretsuko/>

絵付けの指導は、
キャリア12年の
お母様から

〈右〉お母様が制作に1年かけられたという大作。咲き乱れる花と瑞々しいフルーツが実にリアル! 〈左〉集中力と美的センスを要求される、絵付けの作業。できあがりを見ながら彩色するのが楽しくなるのだそう



ご自宅でのお稽古には
新作シャネルの
カーディガンジャケットで

〈上〉ご自宅のいたるところに見事な作品が。この日お召しのカラフルなニットはシャネル。〈下右〉お母様とゆったり過ごす時間があるのも、絵付けの楽しみに。〈下左〉一番上のお嬢さんも挑戦

LIFE STYLE

4月の華ライフ 母娘で楽しむ「絵付け」

母に教えてもらって、少しずつ。 繊細な絵付けの世界に夢中です

ゴルフやテニスなど、アウトドアの趣味一辺倒だった英津子先生。ところが、今ではお仕事や育児の合間に絵付けを楽しむようになったのだとか。

「きっかけは、母がお友達と絵付けをしていたことですね。こんな簡単なじゃないの? と試してみたら、ことのほか難しかったんです。絵の具が絵筆になじまない。絵の具をなんとかのせても、焼くと色が変わってしまう。そんな繊細で気まぐれなところも面白い!」と、思っています。気がつけば始めて7年がたっていました。

お母様はノリタケの工房でプロから手ほどきを受け、今では

「きつかけは、母がお友達と絵付けをしていたことですね。こんな簡単なじゃないの? と試してみたら、ことのほか難しかったんです。絵の具が絵筆になじまない。絵の具をなんとかのせても、焼くと色が変わってしまう。そんな繊細で気まぐれなところも面白い!」と、思っています。気がつけば始めて7年がたっていました。

お母様はノリタケの工房でプロから手ほどきを受け、今では

「絵付けは、作品が残るのも楽しいし、同じモチーフを描いても、色遣いやあしらい方に個性が出ます。描いているとつい、ほかのことを忘れて没頭してしまふんですよ!」

お嬢さんたちもそんな姿に刺激を受け、「これが好き」「私もやってみる!」と参加することも。母娘3代にわたる共通の楽しみで、これからも作品が増えていくことでしょう。

愛されコンサバ派・高須 英津子先生の最新ショッピング!



エレガンス派御用達、
シューズはルブタン主義

履きやすくて足に合い、お仕事のときでも違和感なくこなせる。そんな理想のシューズがルブタンだそう。「足が小さいので、びったりのサイズになかなか巡り合わない。見つけたらすぐ買っていたら、増えてしまいました!」(笑)



ルイ・ヴィトンで
甘めモードに挑戦!

〈右〉これまでヴィトンの洋服はあまり買ったことがなかったという英津子先生。「ふとチェックしたら、可愛いけれど意外にこなしやすくてびっくり。ピーチのボウタイをアクセントにする洒落たあしらいにひと目惚れです!」



日差しが暖かくなり、そろそろ春のコートに着替える時期。英津子先生が真っ先にゲットしたのは、浮き立つ気持ちを表すカラフルな小物たち。ちよっぴり甘めで上品な装いは、ご主人さまにも好評。愛されるスウィートモード、とくたくと見あれ。

思わず目がハートになる、
春色のミニパーキン

「夏にオーダーしていたものが、ちょうどできあがってきたんです」と英津子先生が見せてくれたのが、愛らしいフューシャピンの25センチパーキン。ホッとな色もこんなにエレガントに仕上がるのはさすがエルメス! 装いのアクセントになってくれそう